

エルフ娘が触手生物に
産卵マシンにされるまで



ある日、エルフが住む集落のはずれにある聖域に薬草を採取しに来ていた
アイーシャは本来いないはずの魔物に襲われていた

ぎゃああつ
な…なんで聖域に魔物がっ!!

びりッ

びりッ





ペリ...
いのち...はなせり...!

さわるなっ
変態っ!!

アイーシャは触手を振り払おうとするが新たな触手が次々と襲いかかってくる

ひ……
い……い……
こないで……っ！



こんなところ
誰かに見られたら…

うっ…っ
抜けられない…っ

次々と襲い掛かってくる触手の大した抵抗もできず
アイーシヤは服を剥ぎ取られ拘束されてしまう



う...あぁっ
はなしてっ...!

ひ...っ
いやっ...来るな!

ギィ

ギィ

ヌルッ

ニルッ

粘液にまみれた触手の形状を見て何をされるか想像した
アイーシャは何とか拘束から抜け出そうと抵抗する

針を生やした触手がアイーシャのクリトリスに刺さり
薬液を注入していく

痛っ…
あ…っ

んんう…うう…

一瞬の鋭い痛みの後、すぐに股間全体にしびれが走り
思わず甘いうめき声を上げてしまう





はぁ...はぁ...

うう...
アソコがジンジンする...
何を入れられたの...?



痛っ…
やめてっ
入らないでっ…!!

…っ
…っ
…っ
…っ
…っ

ぐち,

ぐちゃ,





腔内で

動いてるぅ…っ!?

…ひっ
おざっ…っ!?

なんで…っ
急に痛くなくなつて…!?

ポッ
ポッ

ブ
チ

腔内に侵入した触手は、アイーシャの卵巣を改造するため
麻酔で痛みを遮断しながら子宮内に侵入していく

数十分後

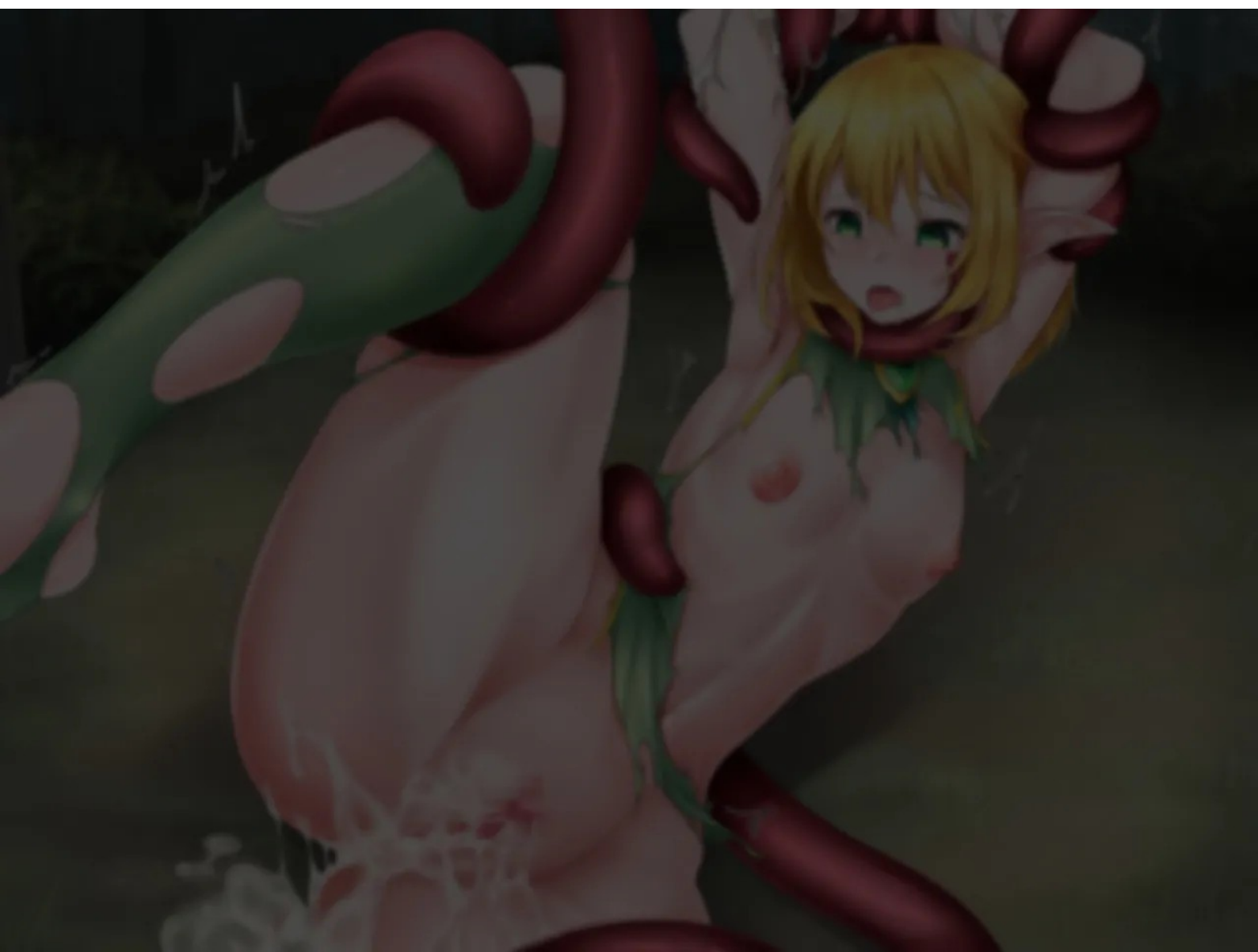


触手が分泌した麻酔で痛みは弱い快感に変わり、卵巣を弄り回される
未知の快感に何百回と軽い絶頂を与えられアイーシャの意識は混濁する



長時間のイキ地獄で体力を使い果たしたアイーシャの意識は落ちていく





意識を失っていたアイーシャは、触手がひしめく巢に連れ去られていた

……え……
なに……?
いじ……

手足に触手が絡みつき身動きができない





ひっ...
な...何を?

毒々しい液体を滴らせる針をもった触手が胸へと伸びていく

針が乳首に刺さりドクドクと液が注入されていく



ん…くっ
う…

なにを…して…
びりびりして
おっぱいが
どンドン張ってきてる…

プ…
ト…
ト…
ト…
ト…
ト…

液を注入された乳房の中で乳腺が急速に発達していき
小ぶりの乳房がどんどん膨らんでいく

ふ...うう...
あぐううう

おっぱいの中で
何か動いてる...っ!?

うああ...
わけわかんないよお...

同時に胸全体に走る刺激に快感を覚え股間から愛液が滴り始める





はぁ...
はぁ...
はぁ...

ああ...っ
何これ
なんでこんなに大きっ...

怖い...私の体
どうなっちゃったの?

乳房の変化が止まると再び針を持った触手が乳首に近づいていく



ふふふ
おっぴょっぴょん！

これまたね...
ふ...ふふ...ふ！

...ふふ...
ふ...ふふふふふふふふ

ふふ

ふふ

感度が極限まで高まった乳首に針が刺さり、想像以上の快感に嬌声をあげてしまう



絶頂により胸の筋肉が勝手に収縮し乳腺が圧迫され母乳が噴き出す

数分の間、針が刺さり薬液を注入され続けアイーシャの絶頂が止まらず股間から潮を吹きだしてしまう



感じたことのないほどの快感が続きアイーシャの意識は混濁していく

何も考えられなくなったアイーシャは、強く残る余韻を感じながら
気を失っていく





アイーシャが目を覚ました時目に入ったのは見たことないほど
大きくなった乳房と何倍にも膨れ上がったクリトリスだった







うぐっ!?

ぎゅん

混乱しているアイシヤのクリトリズに細い触手が絡みつく

絡みついた触手は容赦なく肥大化したクリトリスをしごき始める

凄まじい快感がクリトリスから駆け上がってくる





アイーシャがいくら止めるよう訴えても触手の責めはとまらない



改造された卵巣で作られた卵が、度重なる絶頂による子宮や膣の収縮で押し出されて来る

卵が見えたことで触手はより激しくクリトリスをしごきます





ほおお

んおあ

あおあ

か

か

か

か

アッ

グッポ

びん

卵を産み落としたことようやく触手から解放される



数日後



あれからどれほど日が過ぎたかもわからない
気絶するほどの絶頂を繰り返し、また目覚めるをくりかえす

アイーシャの精神は擦り切れ、触手の卵を産み続けるだけの
機械のようになっていた



日々、子宮内に卵が出来上がる頃合いに様々な手段で産卵をさせようと触手が伸びてくる

…ひびき…
あ…ふや…

クリトリスに触手が伸びていく様を見るたびに
アイーシャは恐怖した表情を浮かべる





必死に許しを請うも容赦なくクリトリスにむしゃぶりつく

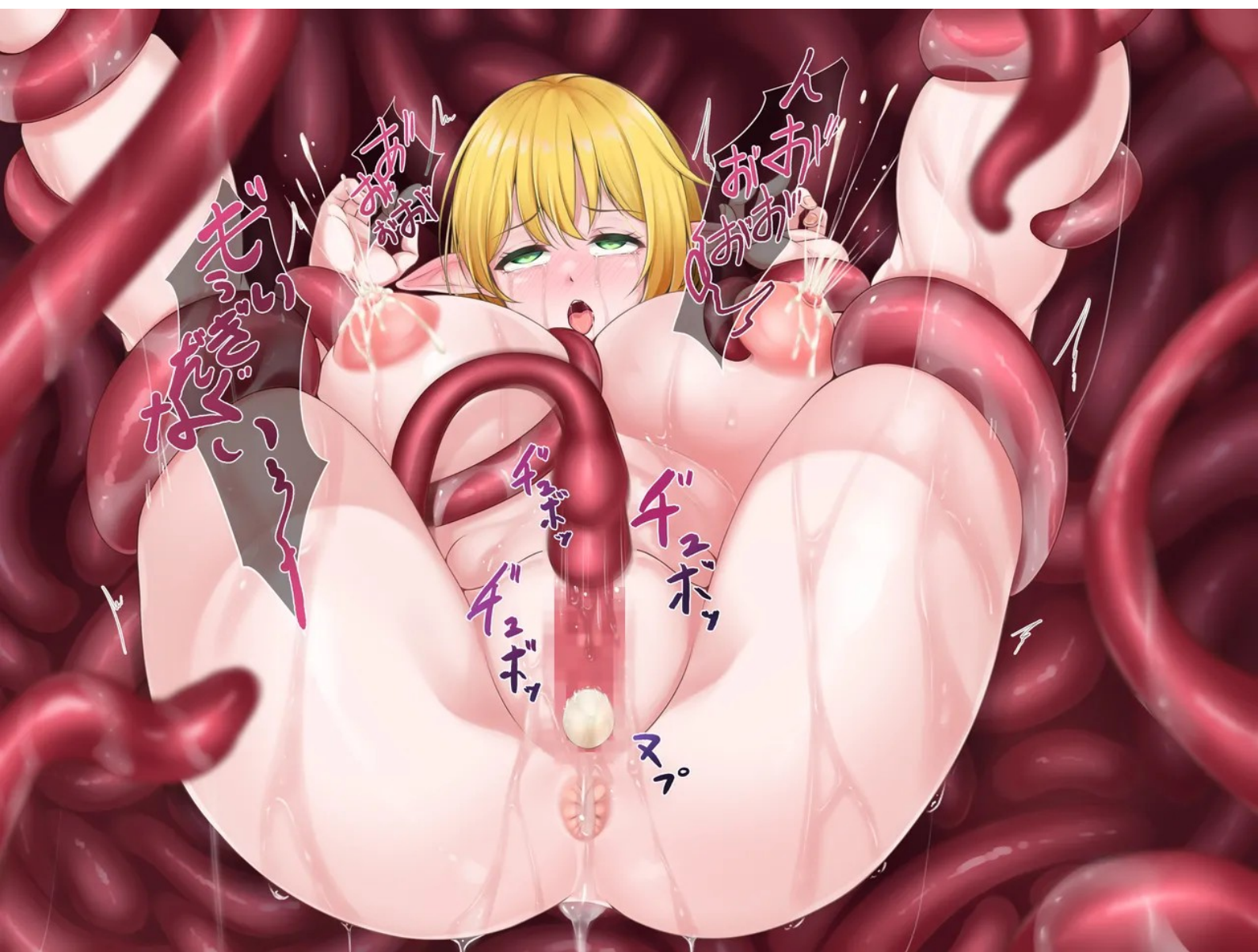
ああ……う
ああ……う
ダメ……触らないで……

イヤ

グッ



触手はアイーシャのクリトリスを根元まで飲み込み強く吸い上げる





身体を作り変えられ卵を産み続けるだけの機械になったアイーシャ

エルフという長寿種の永い生をここで過ごすことになる



ドゥッ...

